

【表 4】

子育て支援施設の設置及び管理に関する条例の一部改正(案)に対する意見募集(パブリックコメント)結果の公表

お寄せいただいた意見及び意見に対する市の考え方を公表します。

■ パブリックコメントの結果

子育て支援施設の設置及び管理に関する条例の一部改正(案)についてパブリックコメントを実施したところ、次の結果になりました。貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

- 1 募集期間 令和2年12月11日から令和3年1月12日
- 2 提出人数 2名
- 3 意見総数 5件
- 4 公表場所
保育課、子育て支援センター、わくわく広場、すこやか広場、行政情報資料室(市役所本庁舎1階)、各行政サービスセンター、生涯学習センターアビスタ、湖北地区公民館、市民プラザ、我孫子市民図書館湖北分館及び布佐分館、各近隣センター、我孫子市ホームページ
- 5 意見公募した内容 子育て支援施設の設置及び管理に関する条例の一部改正(案)(別紙参照)
- 6 意見と意見に対する市の考え方 別紙参照
- 7 内容の修正について
寄せられたご意見に基づき、子育て支援施設の設置及び管理に関する条例の一部改正(案)について検討した結果、修正は必要ないと判断しました。
- 8 担当 保育課 子育て支援センター TEL: 04-7185-1915

整理番号	提出された意見		意見に対する市の考え方
1-1	意見	川村学園女子大学附属保育園と、布佐宝保育園に設置される子育て支援施設は、現在のすくすく広場やすこやか広場のよう利用できるのでしょうか？ (施設利用料・利用時間・利用年齢など)	保育園に設置される子育て支援施設も、現在の広場とほぼ変わりなく、次のとおりご利用いただけます。 <利用対象> 乳幼児とその保護者 <利用料> 無料 ※行事の内容によっては、材料費や参加費などの費用がかかる場合があります。 <利用時間> ○川村学園女子大学附属保育園 10時～16時(月～金) ※イベントによって土曜日実施あり(不定期) ○布佐宝保育園 9時30分～15時(週3日) ※曜日は未定(決まり次第市のホームページ等でお知らせします。)
	理由	現在の子育て施設は快適に利用させていただいているので、利用条件がどうなるのかが気になります。	
1-2	意見	川村学園女子大学附属保育園と、布佐宝保育園に設置される子育て支援施設は、駐車場を利用できるのでしょうか？	駐車場はご利用いただけます。 ○川村学園女子大学附属保育園 約50台 ○布佐宝保育園 10台
	理由	すこやか広場には駐車場があり、便利なので駐車場の有無によって利用のしやすさが違うため。	
1-3	意見	園児の皆さんと一緒に過ごすということなのでしょうか？	子育て支援施設利用者は、主に保育園併設の子育て支援センター専用スペースで過ごします。保育園が運営する施設なので、保育園行事への参加や園庭などで在園児との交流ができる環境となります。
	理由	施設利用の状況が想像しにくいのでもう少し説明が欲しいです。	
2-1	意見	子育て支援施設の設置及び管理に関する条例の一部改正(案)についての背景と概要の中で、コロナ禍での「新しい生活様式」にも対応できるとの記載があ	保育園や子育て支援施設は、厚生労働省からのガイドライン等をもとに感染症拡大予防対策を実施し、3密回避や適切な消毒作業など、保育施設として安

		<p>るが、具体的にどのようなことを考えているのか。</p>	<p>心してご利用いただける環境整備を行っています。</p>
	理由	<p>コロナ禍においての子育て支援の場における「新しい生活様式」をどのように捉えているのか教えていただきたい。保育の必要性のある集団生活の場に支援センターを設置し外部からの人の出入りを作ろうとしている点は、感染のリスクから考えれば相応しくないと感じる。子育て支援センターを利用する人にコロナの陽性が発覚した場合、保育の必要な家庭が受ける影響は計り知れないと考える。また、子育て支援を受けたい側にとっても、様々な勤務地に赴き働いているだろう保護者を持つ子のいる空間に入ること躊躇いが生じることも予想される。</p>	<p>また、保育園の子育て支援センターは、保育園児と共有の保育室ではなく、出入り口、施設共に子育て支援センター専用スペースとして設置されます。(布佐宝保育園については、別棟です。)</p> <p>なお、新型コロナウイルスを含めた様々な感染症の流行時には、保育園児と子育て支援センター利用者との交流は感染リスクを無くすため行いません。</p> <p>感染症流行状況に応じた対策に取り組みながら、保護者や子どもたちへの安全と安心できる環境を確保することで、「新しい生活様式」に対応した併設施設として、保育園の運営と地域の子育て支援を共に実施できるものと考えます。</p>
	意見	<p>子育て支援広場は4か所開設されているが、利用者数はどのくらいなのか(休館中の施設においては、以前の利用者数)。各地域での子育て支援の場としての役割の大きさを知るために知りたい。</p>	<p>令和元年度()内令和2年12月現在)延べ利用者数は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○にこにこ広場 18,586人(4,885人) ○すくすく広場 13,141人(0人) ○わくわく広場 3,446人(2,300人) ○すこやか広場 2,029人(977人) <p>※令和2年3月から6月まで全館休館(すくすく広場は現在も休館中)</p>
2-2	理由	<p>子育て支援の場を保育園の場に移すメリットもあると思うが、今回の委託検討に至るまでに利用している子育て世代に意向アンケート等は行ってきたのか。すくすく広場は、天王台駅前の立地で利用しやすいと感じる。しかし、川村学園女子大学附属保育園は、天王台駅から徒歩25分程度掛かる。主に車で来館が中心になり、気軽に利用でき</p>	<p>私立保育園が子育て支援拠点事業を実施することに伴う、2施設の閉館についてのご意見を伺うため、パブリックコメントを実施しました。</p> <p>これまで市で子育て支援施設を開館してから現在に至るまでの間、2～3年都度に利用者アンケートを実施し、利用者の意向や思いに沿った施設運営を目指してきました。子育て中の保</p>

	<p>なくなるのではないか。そういった点を考慮したのか。</p>	<p>護者にとっての子育て支援センターの役割の必要性や大切さを実感しながらも、近年は、職員不足の為、開館日を減らして運営するなど、安定した運営ができない状況となっていました。また、すくすく広場については、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、機械換気（感染を確実に予防できるということまでは文献等で明らかになっているわけではない）はできるものの、商業施設等の構造上窓を開けての換気ができないことから、利用者の皆様に安心して過ごしていただく環境を提供することが難しい状況であるため現在も閉館しています。このため、新型コロナウイルス感染症や新たな感染症の流行を想定した場合に商業地域である現在の天王台駅近辺への子育て支援施設の設置は非常に困難であることから、同じ地区内での保育園内に設置できないか検討してきました。こうした中、川村学園女子大学附属保育園から子育て支援の設置の希望があったため、天王台地区ではすくすく広場を閉館し、川村学園女子大学附属保育園に子育て支援センターを設置することにより、天王台地区での子育て支援センターを速やかに再開することができるものと考えました。</p> <p>川村学園女子大学附属保育園は、これまでのすくすく広場と比べ、駅から離れた場所となり、車を持っていない方にはご不便をかけることとなりますが、天王台駅からは「川村学園女子大学附属保育園前」、「NEC 日本電気前」</p>
--	----------------------------------	--

			<p>へのバスが1時間に4本程度運行されているため、車のない方にも気軽にご利用いただけるものと考えています。また、すくすく広場の電車利用者は、全体の1~1.5%程度で、以前から駐車場設置を希望する声が上がっていましたので、保育園の駐車場をご利用いただけることで、地区外からの来館にも利便性は向上するものと期待しています。</p>
--	--	--	--